

👍 自動車用燃料としてのLPガスの魅力

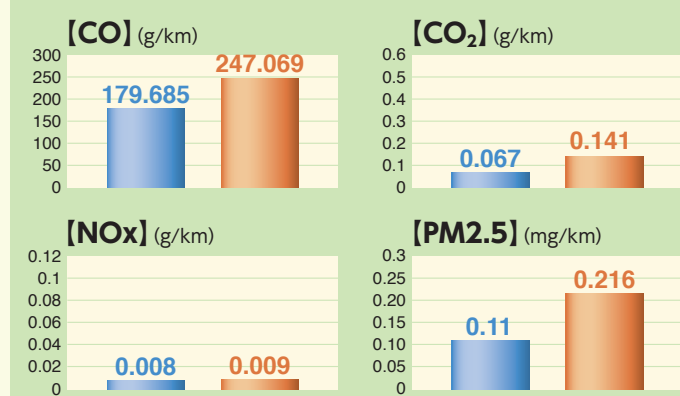
環境性能も優秀

LPガス自動車は環境性能に優れています。特にCO₂（二酸化炭素）とPM2.5（微小粒子状物質）の排出量はガソリン車の半分程度、CO（一酸化炭素）は約70%、NOx（窒素酸化物）は約90%で、排気ガスを大幅に削減できます。さらに、走行時の騒音や振動も少ないため住宅街や夜間でも安心して走行でき、運転者への体の負担も軽減します。

LPガスの環境性能

自動車排ガスデータ 実測値比較（JC08モード）

■ LPG車：1.99ℓ 液状噴射 ■ ガソリン車：1.99ℓ（LPG車と同型式エンジン）



出典：国立環境研究所

経済性に優れている

LPガスの燃料は、ガソリンより安価です。走行燃費はガソリン車とほぼ同じで走れば走るほど燃料差益が大きくなります。このため群馬県みどり市、広島県安芸高田市など各地の自治体がコミュニティバスやデマンド交通に採用し、公共交通の分野にも利用が広がっています。



沖縄県浦添市では12台のLPガスバイフューエル車がデマンドバス（乗合タクシー）として市内全域のくらしの足を支えています

👍 全国に広がるLPガススタンド網

スマホで簡単に検索



日本全国のLPガススタンドを網羅

スタンド名や地名などから検索可能

スマホなら最寄りのスタンドまで誘導可能



LPガス自動車は、ガソリンと同じような充填の仕組みです。LPガススタンドは北海道から沖縄まで全国に約1800カ所あります。

LPガススタンドマップを使って全国の最寄りのLPガススタンドをGoogle Mapsで検索できます。パソコン、スマホからアクセス可能です。

（ご利用の際は、営業日・営業時間をご確認ください。）

LPガススタンドマップ 🔍 検索

写真提供：沖縄県浦添市
制作：株式会社 東京交通新聞社
31202.10000

地域を災害から守る LPガススタンド



LPガススタンド・LPガス自動車の利点

- 1 災害時でも機能する自立型スタンド
- 2 平時から活用できるLPガス自動車
- 3 安定したLPガス供給
- 4 ガソリンより優れた経済性
- 5 クリーンな排出ガス



リスクに強い

LPガススタンド・LPガス自動車

自然災害が相次ぐ中、災害時の社会機能を早期に回復させる備えが地域に求められています。LPガススタンドは災害時も安定的に燃料を供給し、タクシーをはじめとするLPガス自動車による救援活動や避難所への移動を支え、地域に高いレジリエンスをもたらします。

自然災害時に地域を支える取り組み



東日本大震災発生時の宮城県内LPガススタンド



自立型LPガススタンドロゴ

LPガススタンドは高圧ガス設備のため堅牢で耐久性が高く、東日本大震災でも破壊を免れ稼働しました。全国LPガス協会では大規模停電でもタクシー等に燃料が供給できるよう「自立型LPガススタンド認定制度」を創設、非常用発電機を設置し平時から点検や操業訓練を実施するスタンドを増やしています。2020年には資源エネルギー庁による非常用発電機の導入費用補助が行われるなど国からも災害時の地域貢献が期待されています。



非常用発電機



LPガススタンドは災害時においてもLPガスを安定供給しています。東日本大震災や北海道胆振東部地震による大規模停電などでは、LPガスを燃料とするタクシーが災害直後から被災者や、医療従事者、災害ボランティアの輸送で活躍し、令和元年東日本台風(台風19号)でも、自治体災害担当者の被災後の活動を支援しました。

全国47都道府県にあるLPガス協会では、全国の96%にあたる1714の自治体と災害時にLPガスの安定供給を図る防災協定を締結し、締結率100%を推進しています。

政府は自然災害を想定した国土強靱化計画の中で自治体や企業に対し、LPガス自動車の活用などにより輸送用燃料の多様化・分散化を図るよう求めています。これらを受けて、神奈川県ではLPガス自動車を日常業務に活用しながら災害時に備えています。



JPNタクシー



神奈川県庁が導入したLPガスバイフューエル車

LPガスが災害に強い理由は 高い供給安定性

強靱な供給体制

ガソリンや軽油には劣化する性質があるので、原油を国内の製油所で生成して出荷されるものが殆どですが、LPガスは劣化しない事もあり、製品として輸入されるものが大半です。常に出荷できる状態で備蓄されているので災害時にも需給のひっ迫が起こりにくく、買いだめパニックとも無縁です。

LPガスの流通経路



豊富な備蓄



神栖国家LPガス基地

LPガスの輸入業者には年間輸入量の40日分に相当する備蓄が義務付けられ、167万ト(62.4日分)※を備蓄しています。また国は50日分程度を目標とし5カ所の国家基地で140万ト(52.1日分)※を備蓄、災害時や海外からの供給途絶時に放出が可能です。 ※2020年11月現在

地政学リスクが低い

LPガスは原油と違い輸入を中東に依存していません。

ここ数年、米国産LPガスの輸出が急増しており、輸入LPガスの70%以上は米国産で、中東からの輸入はわずか10%程度です。このため中東の政治や軍事、社会的問題で価格や輸入量変動する心配がなく、国際紛争時でも安定的に燃料を供給することができます。

